

八頭町観光ビジョン・アクションプラン

～「人が輝き、未来が輝くまち」を目指して～



高平山頂上からの眺望
(若桜谷に向かって撮影)

平成30年3月

八 頭 町

目 次

第1章 観光ビジョン・アクションプランの基本的な考え方.....	1
1 八頭町観光ビジョン・アクションプランの策定について.....	1
2 観光客数の動向.....	1
3 観光ビジョン・アクションプランの位置づけ・計画期間.....	3
第2章 八頭町観光の現状と課題.....	4
1 現状.....	4
2 課題.....	5
第3章 八頭町観光の将来像.....	7
1 基本理念.....	7
2 観光振興の将来像.....	7
第4章 具体的施策の展開.....	10
1 各種施策.....	10
第5章 推進体制.....	12
1 推進体制.....	12
2 進捗管理.....	12
<参考1：イベント>.....	13
<参考2：各種制度>.....	15

第1章 観光ビジョン・アクションプランの基本的な考え方

1 八頭町観光ビジョン・アクションプランの策定について

平成27年3月に策定した第2次八頭町総合計画（平成27年度～36年度）では、「活力ある産業づくり」が八頭町の将来像を実現するための7つの柱（基本目標）の一つとして示されている。

また、平成27年9月に策定した八頭町総合戦略（平成27年度～31年度）の重点取組事項の4項目のひとつとして位置づけられている。

近年、八頭町では「若桜鉄道SL走行実験」の実施や「やずミニSL博物館」の開館等があり、民間では「大江ノ郷ヴィレッジ」がオープンするなど、新たな観光につながる施策が展開されている。

また、ここ数年の傾向として、官民挙げての「民泊」の推進が挙げられるが、八頭町内でも既に2店舗開業しており、今後も民泊（農泊）施設が増加することが予想される。

さらに、町内における小中学校及び保育所の統廃合が進み、地域活性化を目的とした空き施設の利活用について各種議論がなされている。

「八頭町観光ビジョン・アクションプラン」は、こうした観光面における環境の変化に対応するため、第2次八頭町総合計画との整合性を図りつつ、今後7年間の観光振興施策を具体的に進めていくよう策定するものである。

2 観光客数の動向

八頭町内には、観光関係の指定管理施設として「安徳の里・姫路公園」、「船岡竹林公園」、「八東ふるりの森」、「はっとうフルーツ総合センター」、「物産館みかど」、「私都養殖漁業生産組合」、「ぷらっとぴあ・やず」などがある。

町主催の主なイベントとしては、「八頭町きらめき祭」、「ふなおか竹林まつり」、「安徳の里・姫路公園まつり」、「八頭町マルシェ」があり、他にも「物産館みかどまつり」、「森下広一杯八頭町マラソン大会」、「隼駅まつり」などがある。

(1) 八頭町の指定管理施設における入込客数

八頭町の指定管理施設における入込客数について、平成23年度は136,457人、平成24年度は140,994人、平成25年度は140,068人、平成26年度は130,349人、平成27年度は240,088人、平成28年は210,858人である。平成26年度まではほぼ横ばいの推移であるが、平成27年3月に「ぷらっとぴあ・やず」が完成したことにより同年度の客数は大幅に増加した。

しかし、平成28年度には約30,000人も減少しているほか、「はっとうフルーツ総合センター」の客数は平成23年度の44,043人から平成28年度には28,829人に、「物産館みかど」の客数は平成23年度の57,006人から平成28年度には48,453人に減少しており、今後も各施設において積極的な誘客施策を展開する必要がある。

年度	入込客数	調査対象施設
平成 23 年度	136,457 人	姫路公園、竹林公園、ふる里の森、きらめきプラザ等
平成 24 年度	140,994 人	姫路公園、竹林公園、ふる里の森、きらめきプラザ等
平成 25 年度	140,068 人	姫路公園、竹林公園、ふる里の森、きらめきプラザ等
平成 26 年度	130,349 人	姫路公園、竹林公園、ふる里の森、きらめきプラザ等
平成 27 年度	240,088 人	姫路公園、竹林公園、ふる里の森、ぷらっとびあ・やず等
平成 28 年度	210,858 人	姫路公園、竹林公園、ふる里の森、ぷらっとびあ・やず等

(2) 民間における入込客数

年度	大江ノ郷自然牧場
平成 26 年度	146,000 人
平成 27 年度	155,000 人
平成 28 年度	283,000 人

(3) 八頭町の各種イベントにおける来場者数

八頭町のイベントの来場者数については、(表 1) のとおりである。

「ふなおか竹林まつり」は横ばいかやや減少傾向、「安徳の里・姫路公園まつり」は横ばい傾向、「八頭町きらめき祭」は増加傾向、「八頭町マルシェ」は全体的には増加傾向、「八東ふる里の森まつり」は増加傾向にあり、総合的に勘案すると来場者数は増加傾向にあると言える。

(表 1)

年度	竹林まつり	姫路まつり	ふる里の森まつり	きらめき祭	マルシェ
平成 23 年度	自粛	500 人	415 人	2,500 人	-
平成 24 年度	1,500 人	500 人	500 人	5,500 人	1,200 人
平成 25 年度	2,000 人	1,500 人	417 人	2,500 人	1,700 人
平成 26 年度	1,500 人	2,000 人	431 人	3,800 人	2,300 人
平成 27 年度	2,000 人	1,600 人	521 人	4,000 人	2,500 人
平成 28 年度	1,300 人	1,300 人	538 人	4,500 人	中止
平成 29 年度	1,500 人	1,500 人	545 人	5,300 人	1,000 人

各種イベントの今後の課題事項としては、①新鮮味を出す、②来場者数増加に伴うトラブル対策(駐車違反、交通規制、ゴミのポイ捨て等)、③各種イベントの棲み分け・差別化等が挙げられる。また、イベントの来場者数は天候に左右されることが大きく、平成 29 年度の八頭町マルシェや平成 23 年度の姫路公園まつりは大雨の中で実施したため、客数としては非常に少ない結果となっている。

(4) 一般団体主催のイベントにおける来場者数

一般団体主催によるイベントには、「扇ノ山登山夏山開き（八頭町観光協会主催）」、「クラフトキャンプ in 八頭（クラフトキャンプ実行委員会主催）」、「隼駅まつり（隼駅まつり実行委員会主催）」、「花御所柿まつり（物産館みかど主催）」、「姫路公園かまくら祭（スローライフクラブ八頭主催）」などが挙げられる。

各イベントの来場者数の推移は（表 2）のとおり。

（表 2）

年度	扇ノ山登山	クラフトキャンプ	隼駅まつり	花御所柿まつり	かまくら祭
平成 23 年度	中止	700 人	450 人	-	150 人
平成 24 年度	90 人	900 人	700 人	3,000 人	293 人
平成 25 年度	90 人	5,000 人	1,000 人	3,000 人	300 人
平成 26 年度	60 人	3,700 人	1,000 人	3,500 人	591 人
平成 27 年度	50 人	4,160 人	2,000 人	3,500 人	中止
平成 28 年度	50 人	5,000 人	2,400 人	2,500 人	中止
平成 29 年度	70 人	自粛	2,300 人	-	-

これらのイベントのうち、「隼駅まつり」は実施規模の拡大や従来の主催者メンバーの負担等を考慮し、平成 30 年度から八頭町が主催となることとなっている。「かまくら祭」も、平成 27 年度は積雪がなかったために中止、平成 28 年度は記録的大雪のため中止と、それぞれの年の気候に大きく左右されているため、現在その開催のあり方について議論がなされているところである。

その他、近年のイベントでは「29 ロードウォーク」や「フルーツ&ミートウォーク」など、国道 29 号沿線の活性化を目的としたイベントも町内で開催されており、以前よりも町内における各種イベント数は増加していると言える。

3 観光ビジョン・アクションプランの位置づけ・計画期間

(1) 位置づけ

本ビジョン・アクションプランは、「第 2 次八頭町総合計画」、「八頭町総合戦略」との整合性を図りながら、観光振興に関わる分野を具現化する観光振興施策を示すものである。

(2) 計画期間

本ビジョン・アクションプランの計画期間は、第 2 次八頭町総合計画との整合を図り、平成 30 年度から平成 36 年までの 7 年間とする。

平成 30 年度から平成 31 年度までの 2 年間で前期、「第 2 次八頭町総合計画後期計画」策定後からの 3 年間（平成 32 年度～平成 34 年度）を中期、計画期間の締めくくりとなる 2 年間（平成 35 年度～平成 36 年度）を後期と設定する。

第2章 八頭町観光の現状と課題

1 現状

八頭町における観光入込客数は、各指定管理施設来客数やイベント来場者数を合算に加え、近年における「大江ノ郷自然牧場」の目覚ましい発展も後押しし、数字的には増加傾向にある

また、少子高齢化、人口流出により町内における観光産業の担い手が減少している。さらには、総合計画策定に関するアンケート結果において、観光の振興（観光案内電光掲示板の設置、観光農園の整備、観光パンフレットの作成及びホームページの充実、観光ルートの設定、郡家駅周辺の整備など）に関する現状の満足度について、満足又はまあ満足と回答した割合が6.91%に対し、今後の重要性について、重要またはやや重要と回答した割合が47.01%となっており、町民からの観光振興の推進を希望する傾向がうかがえる。

八頭町観光の魅力としては、以下のとおりである。

ア 豊かな自然・景観

扇ノ山をはじめとした山々やまちなかに広がる田園風景は四季折々に変化がある景色を楽しむことができる。初夏にはホタルが飛び交い、晴れた夜空には多くの星を眺めることができる。これは澄んだ空気やきれいな水など自然に恵まれているためである。扇ノ山や遠見山は地元の団体が毎年登山を実施しており、県内外からも登山客が訪れる。この他、西御門の大イチョウ、福本オハツキイチョウ、八東総合運動公園の大サクラ、清徳寺の巨樹名木群、徳丸どんどがある。

イ 食と洗練された食材

農業は町の基幹産業となっており、豊かな自然と肥沃な土地から生産される米、フルーツ、野菜などの農産物がある。八頭米「神兎」を始めとした米や米粉、梨、柿を始めとしたフルーツは多品種化が進んでいる。他にも、白ネギ、エリンギ、天美卵、ハチミツ、味噌、ドレッシング、スイーツ、サイダーなどの加工品、わかさ29工房で加工・生産された鹿、猪のジビエ肉がある。年間30万人近い観光客が県内外から来訪する大江ノ郷自然牧場では、たまごかけごはん、パンケーキを始めとした高品質の食を提供しており、なかでも八つの地元食材を使った「YAZU バーガー」は、とっとりバーガーフェスタにおいてグランプリを受賞したことにより、全国に町の優れた食材をPRする食となっている。

ウ 歴史・伝統文化・工芸

白兎伝説ゆかりの地である本町は、鳥取県東部には古くから麒麟獅子舞が伝えられており、澤神社をはじめ麒麟獅子舞が存在し、安藤祭、下船岡神社幸祭など祭りも継承されている。また、県指定保護文化財の新興寺至徳宝篋印塔、国指定史跡である土師百井廃寺跡、鳥取県内で最古の民家となっている矢部家住宅、寺社・仏閣の文化財として、峰寺薬師堂、虎石山能引寺、成田山青龍寺がある。そして、国の有形文化財に登録された若桜鉄道関連施設

についても歴史を物語る施設となっている。

エ 体験・施設

町内では自然を生かした取り組みが進められており、各団体、事業者などにより、扇ノ山、遠見山登山、フライフィッシング、花と緑を楽しむ寄せ植えづくり、ツリーイング、バードウォッチング、カヌー体験、ヤマメのつかみどり、フルーツ狩り等が体験できる。姫路公園、竹林公園、ふる里の森ではそれぞれの特色を生かしたイベント等を実施している。この他、八東総合運動公園、水辺プラザ河川公園のようにスポーツに特化した施設、やずミニSL博物館、かかし村役場、癒しの場としての鍛冶屋温泉がある。

オ 民泊（農泊）施設

観光振興を進めるうえで宿泊は重要となっており、近年、民泊（農泊）の開設も増えてきている。

<参考>町内宿泊施設と宿泊者受入可能数

施設名	宿泊者受入可能数
安徳の里姫路公園	40人
船岡竹林公園	20人
八東ふる里の森	50人
グリーンツーリズムやまだ	6人又は1グループ
宿坊光澤寺	14人又は1グループ (合宿は40人※要相談)
のぶ旅館	18人
谷口旅館	20人
やよい旅館	8人
BASE8823	12人
隼家	10人又は1グループ
溪流民宿とんぼ屋	12人又は2グループ
合計	210人(236人)

2 課題

八頭町内には多くの誇るべき魅力があり、町内において観光客が増加しているにも関わらず、実感できる場所、経済効果は限られており、八頭町全体としてさらなる観光客数の増加を図る事業や施策を展開していかなければならない。

ア 観光資源の魅力の向上

- ・平成29年4月に開館した、やずミニSL博物館をはじめ、かかし村役場などの展示施設は観光資源として重要な施設であることから、さらなる魅力の向上を検討する必要がある。
- ・スポーツ・レクリエーション施設は、地域住民が手軽に楽しめる施設であるとともに、観光客を呼び込める重要な機能を有していることから、観光施設としての利活用方策を検討する必要がある。

- ・姫路公園、竹林公園、ふる里の森は本町を代表する資源であることから、観光客の誘致・誘導策を検討する必要がある。また、建設から相当の年数を経過していることから、需要に合わせた改修等が必要となっている。

イ 食の魅力の向上

- ・食材を活用した観光振興は全国的に行われており、八頭町の特色を演出するためには、既存食材に加えて、新しいブランドの研究・開発が重要な課題である。
- ・特に、地元の事業者の連携・協力のもと、新しい八頭町ブランドの創出や6次産業化に対応していく機運の醸成が必要である。

ウ 宿泊施設の充実

- ・町内には旅館、民宿、宿坊などの宿泊施設があるが、団体客の受け入れは困難な状況にある。滞留時間を多く確保するためには、宿泊施設は重要な役割を果たす施設であり、民泊などの小規模な施設に分散することも考えられるため、立地特性を活用した宿泊施設の確保を検討する必要がある。

エ 二次交通の改善

- ・鳥取自動車道の開通により交通アクセスは改善され、鉄道、バスなどの公共交通機関も整備されているが、町内の移動には列車、バス共に便数が少ないことにより時間的に制約されてしまう。訪問客が出来る限り制約されない二次交通の確保について、工夫が必要である。また、若桜鉄道については、今後の利便性向上が期待される。

オ 近隣自治体との差別化と連携の構築

- ・氷ノ山後山那岐山国定公園は、鳥取県、兵庫県と岡山県に至る広域的な公園であるため、近隣市町との連携を図り、本町への周遊を促進していく必要がある。その中で、「八頭町ならではの」としての施設、体験、食、おもてなし等の素材の差別化を図ることが必要である。

カ 知名度の向上・情報発信力の強化

- ・パンフレットやホームページ等によりPRを実施しているものの、観光地としての知名度が低い状況にある。観光客への情報発信の方法は、インターネットやスマートフォン・タブレット等の普及により、大きく変化していることから、新しい情報発信手段への対応など、観光情報発信力を強化することが必要である。

キ 住民・観光事業者関係者の意識改革

- ・訪問客に「また来たい」と感じていただくため、観光事業者の施設の衛生管理、電話対応、接客などの基本的なサービス水準の向上と「おもてなし」の意識をより一層高めることが必要である。
- ・既存の観光資源に付加価値を付け、より工夫してPRするなど、地元を経済波及効果を及ぼす仕組み作りが必要である。

第3章 八頭町観光の将来像

1 基本理念

八頭町には、昔から生活の中で培われてきた文化が多く残っている。それらを観光振興に活かすことで、観光客が一度は訪れてみたい場所になることを目指し、また、新たな取り組みにより再び訪れたいと思っていただけるような町となることを目指す。

昭和5年に開通し国登録有形文化財の若桜鉄道、成田山青龍寺の縁起に伝わる白兔伝説、鳥取藩主御用窯の因久山焼、国指定重要文化財の矢部家住宅などの「歴史」、清徳寺の巨樹名木群、豊かな農産業を支える八東川、八東ふる里の森の野鳥などの「自然」、山裾に広がる果樹園から採れる果物、大自然の中で飼われた鶏から採れる卵、厳選材料で仕込まれた味噌などの「食」、これらを通じて八頭町の魅力を伝え、また、体験・人との触れ合い・感動をプラスすることで、より魅力を高めていくものとする。

以上のことから、観光振興の将来像を次のとおりとする。

2 観光振興の将来像

～ここにしかない「歴史」・豊かな「自然」・ほっこりする「食」にふれあえるまち～
昔の懐かしさを感じられる風情、山陰の厳しい気候が作りだした豊かな自然環境、ここに住む人々が作りだした文化とのふれあいにより、誰もが来たくなる町を目指す。

『すきだっちゃ八頭』

観光振興の将来像の実現に向けた基本方針、具体的施策、主な取り組みは次のとおりとする。

■基本方針1：豊かな山、川、里が育む食材を活かした食の提供

具体的施策：(1) 食の掘り起しと魅力の再構築

主な取り組み：①八頭町ならではの食を味わえる機会の創出

②郷土食を対外的に提供できる食としての魅力向上

具体的施策：(2) 八頭町独自の味を活かした料理の開発

主な取り組み：①ジビエをテーマにした料理の開発

②スープをテーマにした料理の開発

③八頭町産にこだわった料理の開発

具体的施策：(3) 八頭町の食の魅力の発信

主な取り組み：①八頭町マルシェでの機会の創出

②八頭町を発信する食事処の創出

③八頭町名物加工品の創出

■基本方針2：昔ながらとこれからのことを融合させ、観光客をひきつける観光資源の開発

具体的施策：(1)「鉄道のまち・八頭町」の再発見・新発見

主な取組み：①若桜鉄道各駅の歴史や特徴の情報発信（スマートホンやタブレット、AR等を用いた情報提供、駅構内）

②若桜鉄道観光列車「昭和」における車内販売や車内イベント等の開催（例：新年車内もちつき、車内レコードコンサートなど）

③ミニSL博物館内でのイベント開催（例：音楽演奏会、展示車両の館内試運転会、“音鉄”ファン向けイベント、夏休み限定・ミニSLの仕組み勉強会など）

④隼駅を軸としたツーリングコース、駅祭りのPRとイベント開催

具体的施策：(2)あなたの知らない「滝」の世界～八頭の滝を探す旅～

主な取組み：①八東ふるりの森～大滝コース

②福地～姫翠峡～姫路のお滝さんコース

③雨乞いの滝～覚王寺の大滝・小滝コース～

④大江・志子部の滝コース

具体的施策：(3)あなたの知らない「城跡」の世界～八頭を見下ろす旅～

主な取組み：①日下部・高平山コース

②市場・市場城コース

③北山・鷹山城コース

具体的施策：(4)「白兔伝説のまち・八頭町」の推進

主な取組み：①白兔神社の歴史とゆかりの地の魅力を発信

具体的施策：(5)八頭町の自然を感じる体験メニューの充実

主な取組み：①山、川、里での各種体験型観光の強化

②狩猟や釣りを活かした体験メニューの造成

③四季折々に楽しむトレッキングルートの設定とガイド育成

④田舎ぐらし体験・特産品を使った体験と民泊の受け入れ整備

具体的施策：(6)“星取県”にちなんだ夜空観察イベント

主な取組み：①プロのカメラマンと撮る「八頭・里山の星空」

②夏休み・ファミリーツアー「夏の扇ノ山の夕焼け・星空・朝焼け」

■基本方針3：観光資源のネットワーク化の推進

具体的施策：(1)隠れた見どころを周遊できる仕掛けづくり

主な取組み：①さんさんバス、観光タクシーの充実（二次交通）

②レンタサイクルの拡充とレンタカーの導入

③ドライブルート、ツーリングルート、サイクリングルートの構築

④観光拠点の情報発信強化と拠点間の連携事業の実施

⑤若桜谷グルメめぐりツアー

■基本方針4：近隣市町、関西圏と連携した誘客の促進

具体的施策：(1) 国道29号沿線活性化事業

- 主な取組み：①29ロードネットワーク協議会関連事業
②新因幡ライン・風景街道関連事業
③イベント同時開催の検討

具体的施策：(2) 麒麟のまち(1市6町)での連携

- 主な取組み：①観光PR
②特産品販売と合わせた町の魅力発信
③DMOの推進

具体的施策：(3) 関西事務所を拠点とした活動

- 主な取組み：①旅行社へのPR
②鳥取県関西本部、鳥取県観光連盟との連携
③大阪市住吉区、大阪市東成管内郵便局からの誘客促進

■基本方針5：観光PRのパッケージ化の促進

具体的施策：(1) 八頭町マスコットキャラクターやずびよんを活かした展開

- 主な取組み：①デザイン使用による露出度アップに伴う町の知名度向上
②やずびよん商品の展開による町の知名度向上

具体的施策：(2) 統一したデザインコンセプトでの情報発信

- 主な取組み：①観光地サイン、道案内サインの整備
②観光パンフレット、HP等のデザイン統一
③多言語化への対応

■基本方針6：おもてなしの心の育成と実践

具体的施策：(1) 来訪者を迎える意識の啓発と実践

- 主な取組み：①おもてなしガイドブックの作成(事業者、住民)
②あいさつ運動の展開(事業者、住民)

■基本方針7：PR体制の構築と活用

具体的施策：(1) 県外における八頭町の知名度向上のための人的協力

- 主な取組み：①八頭町観光大使、八頭町PRアドバイザー、八頭町PR隊、
若桜鉄道もりあげ隊、関西八頭町会等

具体的施策：(2) 観光情報の一元化、発信

- 主な取組み：①八頭町観光協会の法人化
②旅行業の登録

第4章 具体的施策の展開

1 各種施策

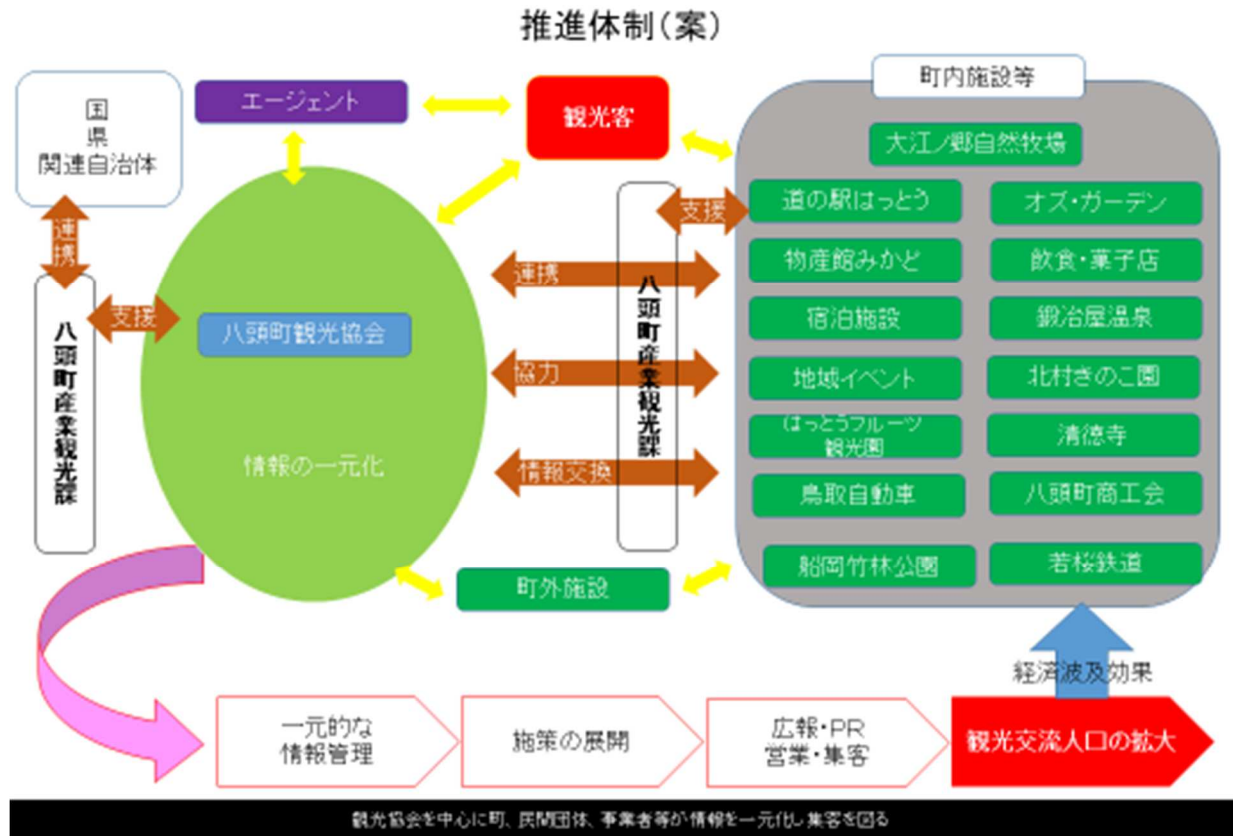
八頭町観光ビジョン・アクションプランの実現にむけて、取り組む施策は次のとおりとする。

施策項目	実施時期			推進主体			
	前期	中期	後期	町	協会	事業者	住民
■基本方針1: 豊かな山、川、里が育む食材を活かした食の提供							
(1) 食の掘り起しと魅力の再構築							
①八頭町ならではの食を味わえる機会の創出				●	●	◎	
②郷土食を対外的に提供できる食としての魅力向上				●	●	◎	
(2) 八頭町独自の味を活かした料理の開発							
①ジビエをテーマにした料理の開発				●	●	◎	
②スープをテーマにした料理の開発				●	●	◎	
③八頭町産にこだわった料理の開発				●	●	◎	
(3) 八頭町の食の魅力の発信							
①八頭町マルシェでの機会の創出				◎	●	●	
②八頭町を発信する食事処の創出				●	●	◎	
③八頭町名物加工品の創出				●	●	◎	
■基本方針2: 昔ながらとこれからのことを融合させ、観光客をひきつける観光資源の開発							
(1) 「鉄道のまち・八頭町」の再発見・新発見							
①若桜鉄道各駅の歴史や特徴の情報発信(スマートホンやタブレット、AR等を用いた情報提供、駅構内)				◎	●	●	
②若桜鉄道観光列車「昭和」における車内販売や車内イベント等の開催(例: 新年車内もちつき、車内レコードコンサートなど)				●	◎	◎	○
③ミニSL博物館内でのイベント開催(例: 音楽演奏会、展示車両の館内試運転会、「音鉄」ファン向けイベント、夏休み限定・ミニSLの仕組み勉強会など)				◎	●		
④集駅を軸としたツーリングコース、駅祭りのPRとイベント開催				◎	◎	◎	○
(2) あなたの知らない「滝」の世界～八頭の滝を探す旅～							
①八東ふるりの森～大滝コース				◎	●		
②福地～姫翠峡～姫路のお滝さんコース				◎	●		
③雨乞いの滝～寛王寺の大滝・小滝コース～				◎	●		
④大江・志子部の滝コース				◎	●		
(3) あなたの知らない「城跡」の世界～八頭を見下ろす旅～							
①日下部・高平山コース				◎	●		
②市場・市場城コース				◎	●		
③北山・鷹山城コース				◎	●		
(4) 「白兔伝説のまち・八頭町」の推進							
①白兔神社の歴史とゆかりの地の魅力を発信				●	◎		○
(5) 八頭町の自然を感じる体験メニューの充実							
①山、川、里での各種体験型観光の強化				●	●	◎	○
②狩猟や釣りを活かした体験メニューの造成				●	●	◎	○
③四季折々に楽しむトレッキングルートの設定とガイド育成				●	◎		○
④田舎ぐらし体験・特産品を使った体験と民泊の受け入れ整備				●	●	○	◎
(6) 「星取県」にちなんだ夜空観察イベント							
①プロのカメラマンと撮る「八頭・里山の星空」				●	○	◎	
②夏休み・ファミリーツアー「夏の扇ノ山の夕焼け・星空・朝焼け」				●	○	◎	
■基本方針3: 観光資源のネットワーク化の推進							
(1) 隠れた見どころを周遊できる仕掛けづくり							
①さんさんバス、観光タクシーの充実(二次交通)				●	○	◎	
②レンタサイクルの拡充とレンタカーの導入				●	◎		
③ドライブルート、ツーリングルート、サイクリングルートの構築				●	◎	●	
④観光拠点の情報発信強化と拠点間の連携事業の実施				●	◎	◎	
⑤若桜谷グルメめぐりツアー				●		◎	
■基本方針4: 近隣市町、関西圏と連携した誘客の促進							
(1) 国道29号沿線活性化事業							
①29ロードネットワーク協議会関連事業				●	●	◎	
②新因幡ライン・風景街道関連事業				●	◎	◎	
③イベント同時開催の検討				◎	◎	○	○
(2) 麒麟のまち(1市6町)での連携							
①観光PR				◎	◎	●	
②特産品販売と合わせた町の魅力発信				◎	◎	●	
③DMOの推進				◎	◎	●	
(3) 関西事務所を拠点とした活動							
①旅行社へのPR				◎	●	○	
②鳥取県関西本部、鳥取県観光連盟との連携				◎	●	○	
③大阪市住吉区、大阪市東成管内郵便局からの誘客促進				◎	●	○	

前期:平成30年度～31年度 区分:◎主体、●支援、○協力
 中期:平成32年度～34年度
 後期:平成35年度～36年度

第5章 推進体制

1 推進体制



2 進捗管理

本計画の推進状況を点検し、観光戦略に生かすため、前期、中期、後期のそれぞれ終了時を目途に、観光ビジョン・アクションプラン実行委員会等により制度、イベントのあり方、仕組みの見直し等の評価・点検を行うこととする。

<参考1：イベント>



～ 八頭町関係イベントカレンダー ～
(平成29年度上半期)



日時	イベント名	場所	概要
4月1日(土) 9:00～15:00 4月2日(日) 9:00～15:00	やすミニSL博物館オープニングイベント	船岡竹林公園	新しい八頭町の観光拠点がオープン。動くミニSL車両がずらりと並び館内は見ごたえあり。土日祝日には乗車体験も実施。
4月2日(土・祝) 10:00～15:00	第22回ふなおか竹林まつり	船岡竹林公園	「竹」に特化したイベント。竹とんぼ作りや竹とんぼ飛ばし大会、タケノコ掘り体験に竹林おこわなど、おいしくて楽しいイベントがたくさん!
5月3日(水) 9:00～14:00	安徳の里・姫路公園まつり	安徳の里・姫路公園	1200匹のヤマメが時間内であれば釣り放題。上位入賞者には豪華景品あり。姫路公園内施設も無料開放!
5月28日(日) 8:30～14:30	扇ノ山夏やまびらき	安徳の里・姫路公園	新緑が美しい初夏の扇ノ山に登るイベント。下山時にはおいしい山菜汁が振る舞われる。毎年参加されるリピーターが多数。
6月15日(木) 9:00～14:00	深江南郵便局物販	大阪市深江南郵便局	八頭町と交流のある大阪市内の郵便局で開催する物産展。八頭町で採れる初夏の野菜や加工品を深江南郵便局で販売。
7月15日(土) 9:00～12:00	八東ふるりの森 植樹祭・きのこまつり	八東ふるりの森	子どもから楽しめる植樹イベント。終わった後には園内で採取されるきのこの展覧会が行われ、もちなども振る舞われる。
7月16日(日) 8:30～14:30	八東ふるりの森 扇ノ山夏山開き	八東ふるりの森	夏の扇ノ山登山イベント。八東ふるりの森から扇ノ山頂上に向けて出発。夏の爽やかな風と風景を楽しみながらの登山は格別。
7月17日(月・祝) 9:00～15:00	八東ふるりの森まつり	八東ふるりの森	八東ふるりの森で開催される、まるで野外フェスのようなイベント。静かな森の中で様々な楽器の音色が響き、鳥のさえずりも聞こえるユニークなイベント。
7月22日(土) 17:00～21:00	因幡船岡駅 駅ビール	若桜鉄道因幡船岡駅	今年で2回目となる「駅ビール」ならぬ「駅ビール」と題されたイベント。ひたすらビールを飲むという、シンプルなスタイルが大人気!
7月29日(土) 23:00～7:00	29ロードウォーク	八頭町ほか	夏の風物詩となりつつある、夜の国道29号を歩くイベント。約300名の参加者で歩き、エイドステーションで肉を食べる。ゴール後も焼肉が待っている。
7月30日(日) 16:30～20:40	第13回八頭町きらめき祭	郡家運動場	八頭町開催される最大規模のイベント。町内一般団体によるハザーや演芸披露、芸能人ステージショーや打上花火など、おいしくて楽しいイベントが盛りたくさん!
8月5日(土) 16:00～21:00	ぶらっとフェス	ぶらっとびあ・やす	第1回目となる、地元団体主催の郡家駅前イベント。老若男女が昼から夜まで踊りつくし、おいしいものも食べつくす!
8月6日(日) 10:00～13:00	隼駅まつり	船岡竹林公園、隼駅前	隼駅前から始まり、今や全国から2,000人以上のライダーが八頭町に集う、ライダーに特化したイベント。船岡竹林公園を拠点に、隼駅前でも各種催しを開催。
8月27日(日) 10:00～12:00	流しそうめんと竹の器作り体験	船岡竹林公園	船岡竹林公園で開催された「竹」にちなんだ夏のイベント。ファミリーで竹の器を作った後は、冷たい流しそうめんでお腹を満たす。
9月24日(日) 10:00～15:00	ガイナール鳥取ホームタウンデー	とりぎんバードスタジアム	県内外のサポーターに八頭町をPRするイベント。バードスタジアムの外ではPRブースを設けて情報発信。やすびょんもコート内に登場!
9月30日(土) 11:30～14:30	ふるさとやすの集い	大阪キャッスルホテル	関西圏で八頭町にゆかりのある方々が集まり、八頭町について語り合い、親睦を深めるイベント。



～ 八頭町関係イベントカレンダー ～ (平成29年度下半期)



日 時	イベント名	場 所	概 要
10月9日(月・祝) 9:00～13:00	第12回森下広一杯 八頭町マラソン大会	船岡小学校グラウンド	トヨタ九州所属の一流アスリートと一緒に八頭町内を走ろう！森下広一監督は5kmの部に参加されます。
10月8日(日) 10:00～16:00 10月9日(祝・月) 10:00～15:00	とっとりバーガーフェスタ2017	大山博老座駐車場	地元鳥取だけでなく、全国からご当地バーガーが集結したイベント。八頭町からは「大江ノ郷自然牧場」が出店。
10月13日(金) 10:00～15:00	関西郵便局物販	深江南郵便局 (大阪市東成区)	毎回大好評の郵便局物販。旬の西条柿をはじめ、八頭町産の特産品を関西の皆さんにお届けします。
10月14日(土) 10:00～15:00 10月15日(日) 9:00～15:00	食のみやこ鳥取県 いなば農産物フェスタ	地場産プラザわったいな (鳥取市賀露)	県東部の市町の各種団体が出店。こら餃子などの八頭町特産品の出店もあります！
10月22日(日) 10:00～14:00	八頭町マルシェ2017	八東総合運動公園	今年で6回目を迎えるマルシェは恒例の特産品バザーや芸能ステージのほか、有坂翔太料理ショーを開催！
10月28日(土) 10:00～15:00	第43回すみよし区民まつり	住吉区役所周辺 (大阪市住吉区)	今年も住吉まつりに出店します！西条柿など、八頭町特産品の試食・販売会を開催するのでお越しください。
10月29日(日) 10:29～14:30	フルーツ&ミートウォーク	八頭町内 (因幡船岡駅～徳丸駅)	因幡船岡駅から八東フルーツ観光園までウォーキング。ランチは観光園で手作りの特製タレ焼肉！
11月3日(金) 9:00～15:00 (予定)	深江歴史文化まつり	東成区深江地域各所 (大阪市東成区)	今年で第10回目となる深江歴史文化まつりに八頭町がもちつきイベントで参加します。
11月5日(日) 8:00～15:00	第1回紅葉の扇ノ山林道ウォーク	八東ふるりの森～ 安徳の里・姫路公園	秋の紅葉が見事な扇ノ山の林道をウォーキング。森林インストラクターによる解説付き。
11月18日(土)・19日(日) 9:00～16:00	ゆるキャラ@グランプリ2017 In 三重桑名ナガシマリゾート	ナガシマリゾート	ゆるキャラたちの一年に一度のお祭りに、今年もやずびよんが参加します。HPから1票入れていただきますようお願いいたします。
11月19日(日) 10:00～13:00	宝塚売布野菜販売会	宝塚売布ASA (朝日新聞販売店)	白ねぎ、びっくりエリンギなど八頭町産の特産品を関西の皆さんにお届けします。
11月25日(土) 10:00～13:00	けやき坂マルシェ	けやき坂イベント広場 (川西市けやき坂)	白ねぎ、びっくりエリンギなど八頭町産の特産品を関西の皆さんにお届けします。
11月26日(日) 10:00～15:30	花御所柿祭り	物産館みかど	八頭町を代表する花御所が柿食べ放題。カニ汁無料配布は毎年行列ができる盛況ぶり！
12月1日(金) 10:00～16:00 12月2日(土) 9:00～15:00	八頭町・農産物フェア	天神橋2丁目商店街 (大阪市北区)	毎回大好評の八頭町農業青年会議による農産物フェアです。八頭町産の新鮮野菜を関西の皆さんにお届けします。
12月15日(金)	関西郵便局物販	東成郵便局管内ほか (大阪市東成区ほか)	毎回大好評の郵便局物販。八頭町産の特産品を関西の皆さんにお届けします。
2月末～3月上旬	かまくら祭り(予定)	安徳の里・姫路公園	かまくら作り、ゆきだるま作り、ソリ遊びなど、雪をつかった遊びが盛りだくさん！

<参考2：各種制度>

補助金名	区分	概要
八頭町観光協会補助金	町	観光協会が行う事業に対する補助
八頭町商工観光事業補助金	町	きらめき祭等イベント実行委員会に対する補助
八頭町特産品販路拡大事業補助金	町	関西圏等における物産展等参加に対する補助
八頭町民泊開設支援事業補助金	町	民泊開設事業者に対する補助
八頭町体験交流推進事業補助金	町	都市部住民を受け入れ、体験交流を行う事業に対する補助
八頭町知的財産権取得支援補助金	町	知的財産にかかる権利の取得又は登録に要する経費に対する補助
八頭町起業家支援補助金	町	新たに起業した法人又は個人に対する、起業等に必要経費に対する補助
八頭町観光協会助成金	観光協会	以下の交付対象事業に対する助成 【交付対象】 1. 観光関連諸団体との連携に関する事業 2. 観光事業の調査・情報収集等に関する事業 3. 観光資源の開発と観光施設の整備などに関する事業 4. 自然景観、文化財、民俗芸能・伝統の保護などに関する事業 5. 観光宣伝及び紹介などに関する事業 6. 町民のふれあい事業に関する事業 7. 地元産物の開発・紹介宣伝・販売に関する事業 8. その他観光協会の目的達成に必要な事業